



森の芸術祭 晴れの国・岡山
Forest Festival of the Arts Okayama:
Clear-skies Country

Press Release | Ver.4 | 2024.7.8

森の芸術祭 岡山

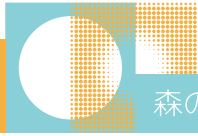


「森の芸術祭 晴れの国・岡山」追加参加アーティストと会場組み合わせなどの最新情報を発表

報道関係者からの
お問い合わせ先

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」PR事務局(株式会社TANK)

E-MAIL: press@forestartfest-okayama.jp



タイトル	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」		
会期	2024年9月28日[土]–11月24日[日]		
開催エリア	岡山県内の12市町村 (津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)		
作品展示エリア	津山 津山城周辺エリア、グリーンヒルズ津山エリア 奈義 奈義町現代美術館周辺エリア 新見 満奇洞・井倉洞エリア 真庭 蒜山エリア 鏡野 奥津エリア		
アートディレクター	長谷川祐子(キュレーター、美術評論家、金沢21世紀美術館館長)		
主催	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会(会長:伊原木隆太 岡山県知事)		
Webサイト	https://forestartfest-okayama.jp		
参加アーティスト	国外:18名/国内:22名(岡山:5名) 13ヵ国 39組 40名		
国外アーティスト/ 順不同		[出身国]	[在住国]
	レアンドロ・エルリッヒ	アルゼンチン	アルゼンチン/フランス
	アンリ・サラ	アルバニア	フランス
	キムスージャ	韓国	韓国
	リクリット・ティラヴァニ	アルゼンチン	タイ
	タレク・アトウイ	レバノン	フランス
	ジェンチョン・リョウ	台湾	台湾
	ピアンカ・ボンディ	南アフリカ	フランス
	スミッタ・G・S	インド	インド
	オウティ・ピエスキ	フィンランド	フィンランド
	アシム・ワキフ	インド	インド
	ジャコモ・ザガネッリ	イタリア	イタリア
	ウメッシュ・P・K	インド	インド
	パオラ・ベザーナ	イタリア	没
	ムハンナド・ショノ	サウジアラビア	サウジアラビア
	エルネスト・ネット	ブラジル	ブラジル
	ルシーラ・グラディン	アルゼンチン	アルゼンチン
	マイケル・リン	台湾	ベルギー
	and more...		
国内アーティスト/ 順不同	坂本龍一+高谷史郎/森山未来/川内倫子/蜷川実花/妹島和世/立石従寛/片桐功敦/ AKI INOMATA/上田義彦/磯崎新/東 勝吉/東山詩織/川島秀明/森 夕香/ 八木夕菜/染谷悠子		
地元アーティスト/ 順不同	太田三郎/杉浦慶侓/江見正暢/加藤 萌/甲田千晴 and more...		
チケット	鑑賞パスポート 一般:2,500円(前売) 3,000円(当日) 大学生・専門学生:1,500円(前売) 2,000円(当日) 単館鑑賞券 一般・大学生・専門学生 700円		



追加アーティスト

加藤 萌 | Moe Kato



加藤萌《微睡みを》Photo: SATOSHI TAKASE

甲田千晴 | Chiharu Koda



甲田千晴《枯鳥》2011



追加アーティスト

ルシーラ・グラディン | Lucila Gradin



Lucila Gradin, *Chromatic Unfolding II*, 2023
Natural dyes and mordant on wool and felt, 275 × 160 cm

マイケル・リン | Michael Lin



Photo: Julia Bahlsen



Michael Lin, *Gathering*, 2021



会場と
参加アーティスト

1. 津山城周辺エリア



PORT ART & DESIGN TSUYAMA
パオラ・ベザーナ | Paola Besana



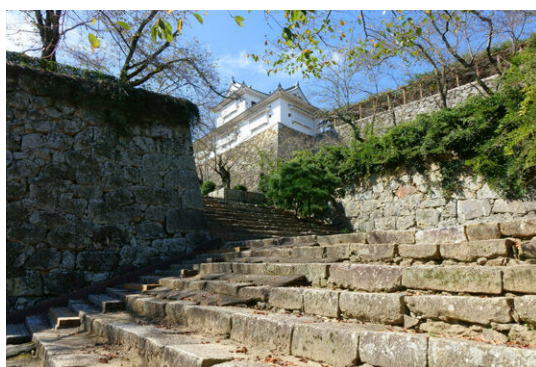
城東むかし町家(旧梶村邸)
タレク・アトウイ | Tarek Atoui
片桐功敦 | Atsunobu Katagiri
八木夕菜 | Yuna Yagi



つやま自然のふしぎ館
アーティスト調整中



衆楽園
リクリット・ティラヴァニヤ | Rirkrit Tiravanija
太田三郎 | Saburo Ota
加藤 萌 | Moe Kato
甲田千晴 | Chiharu Koda
森 夕香 | Yuka Mori



津山城(鶴山公園)
アシム・ワキフ | Asim Waqif



津山国際ホテル跡地
ジャコモ・ザガネッリ | Giacomo Zaganelli



会場と
参加アーティスト

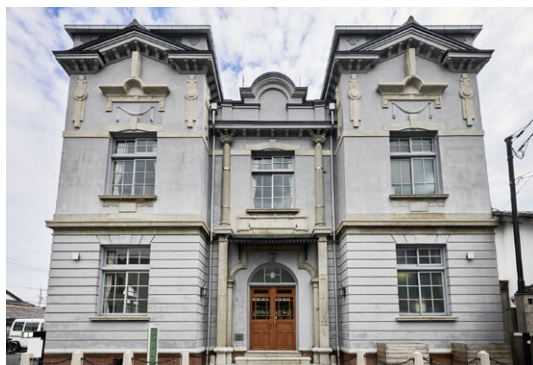
1. 津山城周辺エリア



津山まなびの鉄道館
キムスージャ | Kimsooja



城西浪漫館(中島病院旧本館)
ビアンカ・ボンディ | Bianca Bondi
ルシーラ・グラディン | Lucila Gradin
ウメッシュ・P・K | Umesh P K
江見正暢 | Masanobu Emi



作州民芸館
オウティ・ピエスキ | Outi Pieski

2. グリーンヒルズ津山エリア



グリーンヒルズ津山
エルネスト・ネト | Ernesto Neto

会場と
参加アーティスト

3. 奈義町現代美術館周辺エリア



奈義町現代美術館
AKI INOMATA
ムハンナド・ショノ | Muhannad Shono
坂本龍一+高谷史郎
Ryuichi Sakamoto + Shiro Takatani
磯崎 新 | Arata Isozaki



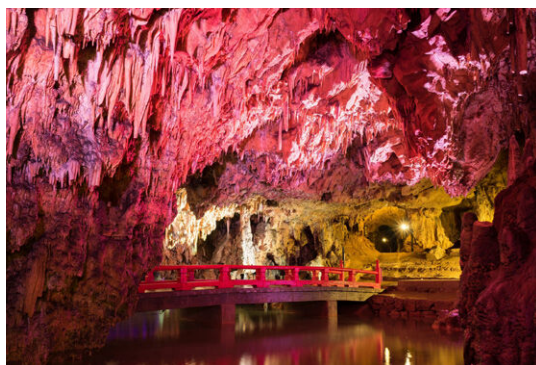
シンボルロード
森山未来 | Mirai Moriyama



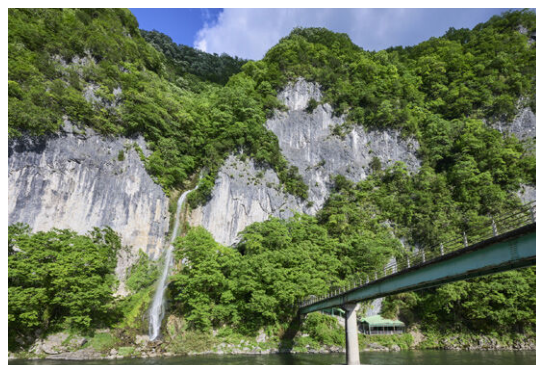
屋内ゲートボール場「すぱーく奈義」
レアンドロ・エルリッヒ | Leandro Erlich

会場と
参加アーティスト

4. 満奇洞・井倉洞エリア



満奇洞
蜷川実花 | Mika Ninagawa



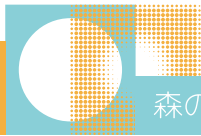
井倉洞
アンリ・サラ | Anri Sala



ふれあいセンター満奇
杉浦慶侘 | Keita Sugiura



まなびの森 新見図書館
マイケル・リン | Michael Lin



会場と
参加アーティスト

5. 蒜山エリア



GREENable HIRUZEN

スミッタ・G・S | Smitha G S
川内倫子 | Rinko Kawauchi
東 勝吉 | Katsukichi Higashi
上田義彦 | Yoshihiko Ueda



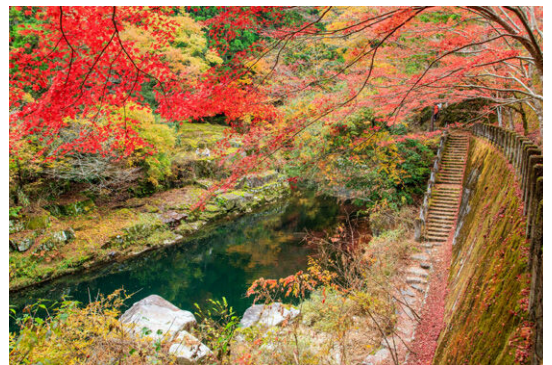
勝山町並み保存地区ほか
妹島和世 | Kazuyo Sejima

6. 奥津エリア



奥津振興センター

ジェンチョン・リョウ | Chien-Chung Liao



奥津溪

立石従寛 | Jukan Tateisi

会場調整中

川島秀明 | Hideaki Kawashima
染谷悠子 | Yuko Someya
東山詩織 | Shiori Higashiyama



オフィシャル ツアーバス

オフィシャルツアーバス

広域なエリアにある会場を、効率よく周っていただけるガイド付きツアーバスを運行します。コースは「歴史りーコース」(津山・奈義エリア)と「ネイチャーコース」(新見・真庭・鏡野エリア)の2種類。それぞれ岡山駅発着または津山駅発着をお選びいただけます。この2コースを組み合わせることで、全ての作品展示エリアを訪れることができます。また、専属のツアーガイドのご案内により、作品鑑賞をより深くお楽しみいただけます。



オフィシャル
ツアーバス

ツアーコース

歴史コース(津山・奈義エリア)

岡山駅発着
料金:おとな 12,000円
こども(小学生) 11,000円(昼食付)

ルート:
岡山駅西口バスターミナル→
津山城周辺エリア(作品鑑賞・昼食)→
グリーンヒルズ津山エリア(作品鑑賞)→
奈義町現代美術館エリア(作品鑑賞)→
JR津山駅(途中下車可)→
岡山駅西口バスターミナル

津山駅発着
料金:おとな 10,000円
こども(小学生) 9,000円(昼食付)

ルート:
津山駅北口広場→津山城周辺エリア
(作品鑑賞・昼食)→
グリーンヒルズ津山エリア(作品鑑賞)→
奈義町現代美術館エリア(作品鑑賞)→
津山駅北口広場

ネイチャーコース(新見・真庭・鏡野エリア)

岡山駅発着
料金:おとな 12,000円
こども(小学生) 11,000円(昼食付)

ルート:
岡山駅西口バスターミナル→
満奇洞・井倉洞エリア(作品鑑賞)→
新庄村(昼食)→
蒜山エリア(作品鑑賞)→奥津エリア(作品鑑賞)→
JR津山駅(途中下車可)→
岡山駅西口バスターミナル

津山駅発着
料金:おとな 10,000円
こども(小学生) 9,000円(昼食付)

ルート:
津山駅北口広場→
満奇洞・井倉洞エリア(作品鑑賞)→
新庄村(昼食)→蒜山エリア(作品鑑賞)→
奥津エリア(作品鑑賞)→
津山駅北口広場

*各コースとも岡山駅発着は行程の最後にJR津山駅での途中下車が可能。1日目に岡山駅発のいずれかのコースに参加した場合、1日目に津山駅で下車・宿泊することで、2日目に津山駅発着のコースにご参加いただけます。

例) 1日目=岡山駅発着:歴史コース(津山・奈義エリア)→ JR津山駅で途中下車 → 津山泊
2日目=津山駅発着:ネイチャーコース(新見・真庭・鏡野エリア)→ 津山駅下車

催行日

2024年9月28日[土]–2024年11月24日[日]の期間で運行

運行日:土日祝(9月・10月)／金土日祝(11月)

注意事項

最少催行人数:10名(10人に満たない場合は、運行いたしません)

作品鑑賞料(作品鑑賞パスポート)は、旅行代金に含まれません。有料の作品鑑賞には鑑賞パスポートまたは単館鑑賞券の購入が必要です。

販売場所

ツアー参加希望の方は、リョービツアーズフレンズバックからお申し込みください。

TEL: 086-226-1515(平日10:00–13:00、定休日:土・日・祝)

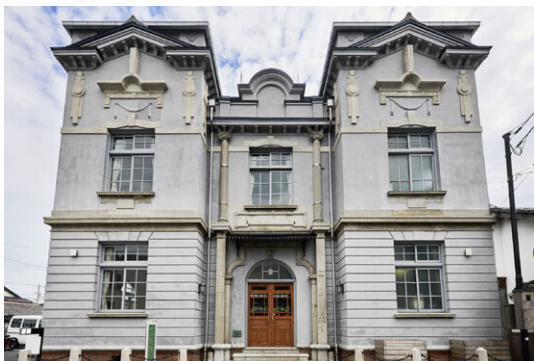
Web: <https://friendspack.jp/forestartfest-okayama/>



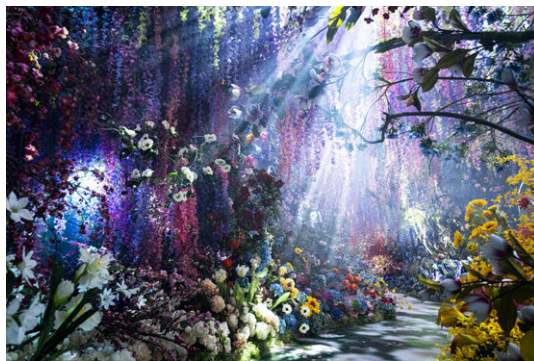


蜷川実花氏 イベント情報

蜷川実花氏による1日限りの特別展示を岡山県津山市で開催。明治42年に銀行の社屋として建てられ、今は地元の民芸品や郷土玩具が展示されている「作州民芸館」で、一足先に芸術祭の雰囲気を感じていただけます。*イベントの詳細は後日公表予定



作州民芸館



参考写真

開催日:2024年9月1日[日]

会場:作州民芸館(岡山県津山市西今町18)

*中国自動車道院庄ICから車で約10分、JR津山駅より徒歩約15分

蜷川実花 | Mika Ninagawa



写真家、映画監督。写真を中心に、映画、映像、空間インスタレーションも多く手掛ける。クリエイティブチーム「EiM」の一員としても活動している。

木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。2010年Rizzoli N.Y.から写真集を出版。

『ヘルタースケルター』(2012)ははじめ長編映画を5作、Netflixオリジナルドラマ『FOLLOWERS』を監督。最新写真集に『花、瞬く光』。

主な個展に、「蜷川実花展」台北現代美術館(MOCA Taipei, 2016年)、

「蜷川実花展—虚構と現実の間に—」(日本の美術館を巡回、2018年-2021年)。

「蜷川実花展: Eternity in a Moment 瞬きの中の永遠」(TOKYO NODE、2023年-2024年)では25万人を動員。